

平成29年8月9日

上場会社名 藤森工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7917 URL <http://www.zacros.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 布山 英士

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 管理部門管掌 (氏名) 吉野 彰志郎

TEL 03-6381-4211

四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	27,104	19.7	2,310	37.5	2,422	49.6	1,477	45.8
29年3月期第1四半期	22,650	4.5	1,680	26.2	1,619	33.5	1,013	35.4

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 1,464百万円 (29.8%) 29年3月期第1四半期 1,128百万円 (27.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	77.64	76.94
29年3月期第1四半期	53.25	52.85

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	96,653	57,978	56.6	2,876.36
29年3月期	96,381	56,899	55.7	2,822.27

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 54,743百万円 29年3月期 53,714百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		33.00		33.00	66.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		33.00		33.00	66.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	107,000	8.7	8,000	16.4	7,900	12.3	4,700	72.8	246.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	19,267,760 株	29年3月期	19,267,760 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	235,380 株	29年3月期	235,380 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	19,032,380 株	29年3月期1Q	19,032,459 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では政治・政策面において不透明感が残るものの企業業績・雇用などが堅調に推移するなど着実に回復が続き、欧州においては保護主義的政策の景気への懸念がやや弱まり、中国やアジア諸国でも景気は持ち直し傾向にあり、全体として緩やかな回復基調となりました。国内経済においては、堅調な雇用・所得環境を受けて個人消費は回復し、企業業績も改善するなど、各経済指標が堅調に推移しております。

このような環境の下、ライフサイエンス事業で昨年年央に買収したインドネシア子会社の業績が当第1四半期に反映されたこと、建築資材事業で首都圏再開発物件・土木関連を中心に販売が堅調に展開したこと、さらに情報電子事業では主力のプロテクトフィルムを中心に需要が伸長したことなどにより、当社グループの売上は各事業とも前年同期比で増加いたしました。

損益面では、研究開発費・戦略的固定費については更なる投入を推進した一方で、全事業セグメントにおける増収の効果が大きく寄与し、加えて生産効率の向上に努めたことなどにより、前年同期比で増益となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高271億4百万円（前年同期比19.7%増）、営業利益23億10百万円（前年同期比37.5%増）、経常利益24億22百万円（前年同期比49.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益14億77百万円（前年同期比45.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(ライフサイエンス事業)

医薬・医療用包装材ではインドネシア子会社の売上が加わったことなどにより増収となりました。さらに、日用品向包装材（粧業包装／詰替パウチ）では、拡販を続け需要を確実に捉えたことなどにより売上が伸長し、食品用包装材と液体容器でも前年を上回る売上を確保したことで、事業全体として大きく増収となりました。

この結果、売上高は130億90百万円（前年同期比16.1%増）となりました。

(情報電子事業)

プロテクトフィルムについては、足許の需要回復に伴い台湾子会社の稼働率が向上したことなどにより増収となり、情報記録用材についてもパソコン・サーバー向け、並びにスマートフォン向けの販売が堅調に推移し、剥離フィルムでも中国スマートフォン向けを中心に前年並みの売上を確保したことで、事業全体では前年同期比で増収の展開となりました。

この結果、売上高は93億73百万円（前年同期比10.8%増）となりました。

(建築資材事業)

建材関連においては、首都圏再開発物件等により煙突工事並びに空調用配管の売上が好調に推移したことに加え、集合住宅向けボイドスラブ（床構造部材）の売上も前年を上回ることができました。土木関連については、トンネル用資材の売上が増加いたしました。

この結果、売上高は46億40百万円（前年同期比59.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、有価証券、有形固定資産などが減少しましたが、売上債権の増加などにより、前年度末に対して2億72百万円増加の966億53百万円となりました。

負債については、未払金などが増加しましたが、賞与引当金や借入金が増減したことなどにより、前年度末に対して8億6百万円減少の386億75百万円となりました。

純資産は、非支配株主持分29億26百万円を含めて579億78百万円となり、自己資本比率は56.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年5月11日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,102	5,670
受取手形及び売掛金	29,379	31,972
有価証券	11,098	10,498
商品及び製品	3,884	3,906
仕掛品	1,162	1,325
原材料及び貯蔵品	3,278	2,993
繰延税金資産	633	751
その他	1,731	1,167
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	57,263	58,279
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	37,153	36,700
減価償却累計額	△20,602	△20,472
建物及び構築物 (純額)	16,551	16,227
機械装置及び運搬具	50,575	50,953
減価償却累計額	△42,487	△42,910
機械装置及び運搬具 (純額)	8,088	8,042
工具、器具及び備品	5,955	6,050
減価償却累計額	△5,190	△5,273
工具、器具及び備品 (純額)	765	776
土地	5,886	5,677
建設仮勘定	990	874
その他	6	6
減価償却累計額	△3	△3
その他 (純額)	3	2
有形固定資産合計	32,285	31,602
無形固定資産		
のれん	584	549
その他	1,314	1,227
無形固定資産合計	1,898	1,776
投資その他の資産		
投資有価証券	3,706	3,763
繰延税金資産	472	471
その他	789	776
貸倒引当金	△35	△16
投資その他の資産合計	4,933	4,994
固定資産合計	39,117	38,374
資産合計	96,381	96,653

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,710	20,135
短期借入金	4,726	4,221
未払金	3,407	4,143
未払法人税等	1,301	1,023
賞与引当金	1,414	786
役員賞与引当金	58	24
その他	1,238	1,921
流動負債合計	32,857	32,256
固定負債		
長期借入金	793	743
繰延税金負債	784	690
退職給付に係る負債	4,023	4,074
役員退職慰労引当金	499	503
その他	523	408
固定負債合計	6,624	6,419
負債合計	39,482	38,675
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,600	6,600
資本剰余金	6,523	6,488
利益剰余金	38,727	39,874
自己株式	△501	△501
株主資本合計	51,349	52,461
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,404	1,472
為替換算調整勘定	1,089	931
退職給付に係る調整累計額	△128	△121
その他の包括利益累計額合計	2,364	2,282
新株予約権	293	308
非支配株主持分	2,891	2,926
純資産合計	56,899	57,978
負債純資産合計	96,381	96,653

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	22,650	27,104
売上原価	17,477	21,111
売上総利益	5,173	5,992
販売費及び一般管理費	3,492	3,682
営業利益	1,680	2,310
営業外収益		
受取利息	3	11
受取配当金	56	30
受取保険金及び配当金	4	0
補助金収入	-	64
その他	42	54
営業外収益合計	107	162
営業外費用		
支払利息	4	11
売上割引	8	9
為替差損	154	28
その他	1	1
営業外費用合計	168	50
経常利益	1,619	2,422
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	40	-
固定資産除却損	0	3
事業構造改善費用	-	82
その他	-	6
特別損失合計	40	92
税金等調整前四半期純利益	1,579	2,330
法人税、住民税及び事業税	731	961
法人税等調整額	△143	△246
法人税等合計	588	714
四半期純利益	991	1,616
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△21	138
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,013	1,477

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	991	1,616
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30	70
為替換算調整勘定	96	△229
退職給付に係る調整額	9	7
その他の包括利益合計	136	△151
四半期包括利益	1,128	1,464
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,141	1,389
非支配株主に係る四半期包括利益	△13	74

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、重要な子会社の異動には該当していませんが、ZACROS (HONG KONG) CO., LTD. は、今後、中国・アジア市場の戦略上の拠点として重要性が高まることから、当第1四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフ サイエンス	情報電子	建築資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,275	8,459	2,916	22,650	-	22,650
セグメント間の内部 売上高又は振替高	60	199	22	282	△282	-
計	11,335	8,659	2,938	22,933	△282	22,650
セグメント利益	744	807	128	1,680	-	1,680

(注) 1. 売上高の調整額はセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフ サイエンス	情報電子	建築資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,090	9,373	4,640	27,104	-	27,104
セグメント間の内部 売上高又は振替高	55	251	22	328	△328	-
計	13,145	9,624	4,662	27,432	△328	27,104
セグメント利益	891	922	496	2,310	-	2,310

(注) 1. 売上高の調整額はセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。